藤井真澄

2 全

藤井真澄

〻〻〻御免[redacted]下さい！（る）おい、おい、ゐな

いのかね？、

甚声は次第に近[redacted]いて 間もなく 或男が 出て来る。

年齢三十五六歳、まる、が刈り頭で髯はないが、

理髪をしないと見えて、さかい毛[redacted]が かなり、、

久しく おー～[redacted]はえてゐる。体格は[redacted]●頑丈

[redacted]顔色[redacted]晴

黒[redacted]が、今は大部痩れてゐるやうだ。く強さうだ 蒼く

話をする時[redacted]何時もセカ

〱してゐて落付はかない。わざ〱乱暴な 共しも

下品な言葉を選んで使ふやうなところがあ

るが、陰険味や策略味は少しも見えない。

印絆纏の上に古い汚ならしいレインコートを着てゐる。

ちよつと甚切の有様を眺めた後火鉢に向つ

て中腰になり葉鎌を下して煙草をすふ。

少時——寝てゐる若いと眼を出して指

ゆる。

四十歳に近い。

長髪[redacted]鼻髭顎鬚、非常に痩せてゐる。

その言葉は

[redacted]元気が[redacted]なく 優しいが、

一読もの[redacted]用心して考へ深く話す。

寝てゐる男。（不似合 いかつい にも驚り太声

10 20（イーグル印原稿紙）